

## 6 ボウリング場

### (1) 概況

～ 20代以下の個人会員拡大、利用者数も増加～

福岡県の平成16年におけるボウリング場数は38ボウリング場で前回調査(平成13年)に対し5.0%減少、就業者数は872人で前回調査に対し5.8%増加、年間売上高は54億88百万円で同じく4.5%増加しました。

1ボウリング場当たりの年間売上高は1億44百万円で前回調査(平成13年)に対し9.9%増加し、就業者1人当たりの年間売上高は6百万円で前回と同額になりました。

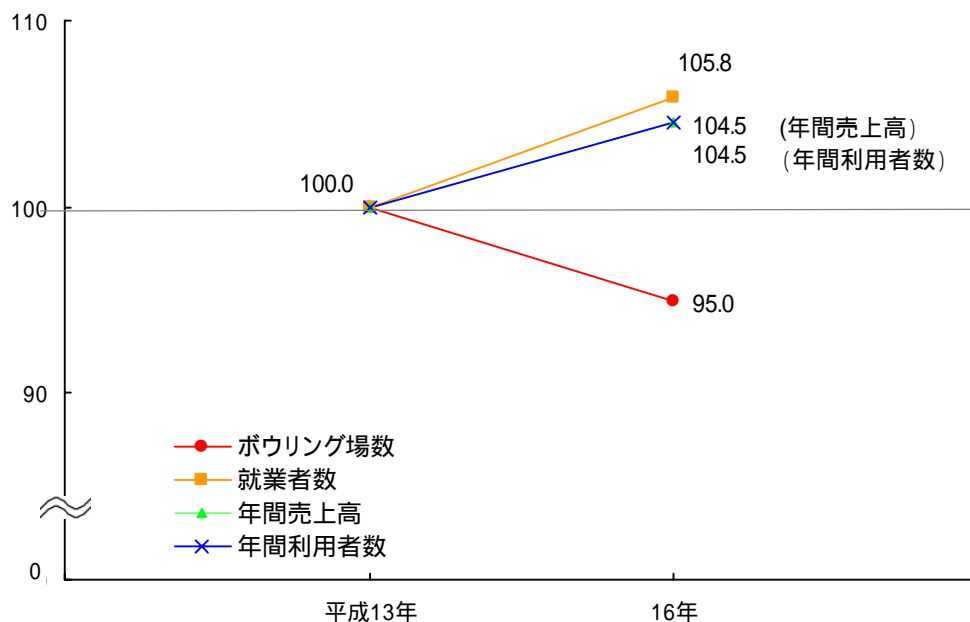
年間利用者数は415万5523人で前回調査(平成13年)に対し4.3%増加、年間ゲーム数は1071万2803ゲームで同じく4.6%増加しました。

表1 ボウリング場数、就業者数、年間売上高等の前回比較

(単位:人、百万円)

区 分	平成13年	平成16年	前回比(%)
ボウリング場数	40	38	5.0
就業者数	824	872	5.8
年間売上高	5,252	5,488	4.5
1ボウリング場当たり 就業者1人当たり	131	144	9.9
	6	6	0.0
年間利用者数	3,982,877	4,155,523	4.3
年間ゲーム数	10,240,487	10,712,803	4.6

図1 ボウリング場数、就業者数、年間売上高等の推移  
(指数:平成13年 = 100)



## (2) ボウリング場数

### 38ボウリング場、前回比 5.0%の減少

平成16年のボウリング場数は38ボウリング場で、前回に対し2ボウリング場減少(前回比 5.0%減)となりました。

#### 【事業形態別】

ボウリング場数を事業形態別にみると、「並列型」が19ボウリング場(構成比50.0%)、次いで「ボウリング中心型」が15ボウリング場(同39.5%)となりました。

また、前回に比べると、他の形態が増加した一方で「ボウリング中心型」(前回比 25.0%減)は減少しています。

#### (注)事業の形態について

ボウリング中心型	ボウリング場が中心であり、付帯施設にプロショップ、レストラン(喫茶、スナック等を含む)、ミーティングルームなどの一般的な範囲での施設がある。
並列型	ボウリング場の他にプール、ビリヤード、卓球場、ゴルフ練習場、テニスコート、カラオケボックス、サウナ等の付帯施設がある。
付帯施設中心型	総合レジャー・センターの一施設としてボウリング場がある。又はホテル、レジャーランド、ショッピングセンター等の施設の一部にボウリング場がある。

図2 事業形態別ボウリング場数の構成比

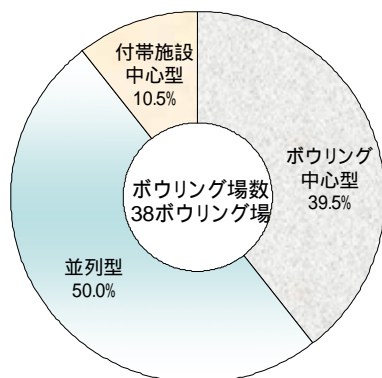
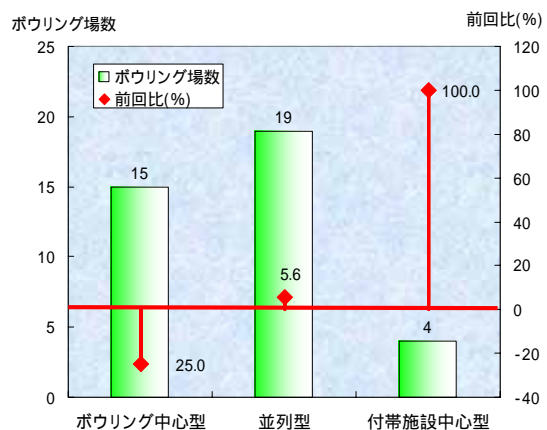


図3 事業形態別ボウリング場数及び前回比



【レーン数規模別】

ボウリング場数をレーン数規模別にみると、「39レーン以下」が25ボウリング場(構成比65.8%)と全体の6割超を占めています。

また、前回に比べると、「40～59レーン」(2ボウリング場減、16.7%減)のみがわずかに減少しています。

図4 レーン数規模別ボウリング場数の構成比

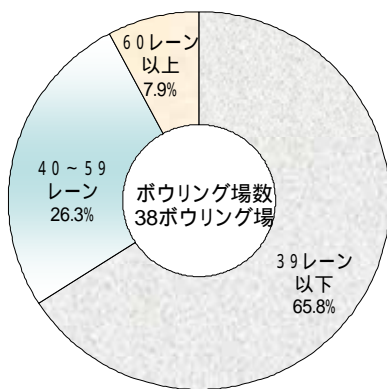


図5 レーン数規模別ボウリング場数及び前回比

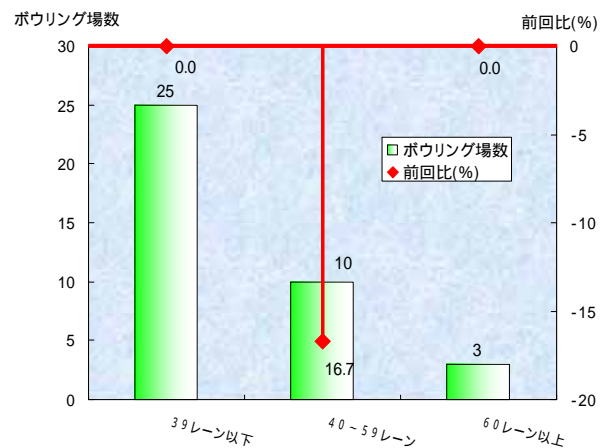


表2 事業形態別、レーン数の規模別ボウリング場数

区 分		平成13年		平成16年		
		場数	構成比(%)	場数	構成比(%)	前回比(%)
計		40	100.0	38	100.0	5.0
形態別	ボウリング中心型	20	50.0	15	39.5	25.0
	並列型	18	45.0	19	50.0	5.6
	付帯施設中心型	2	5.0	4	10.5	100.0
規模別	39レーン以下	25	62.5	25	65.8	0.0
	40～59レーン	12	30.0	10	26.3	16.7
	60レーン以上	3	7.5	3	7.9	0.0

### (3) 就業者数

#### 872人、前回比5.8%の増加

平成16年の就業者数は872人で、前回に対し48人増加(前回比 5.8%増)となりました。

#### 【男女別】

就業者数を男女別にみると、「男」が583人(構成比66.9%)で前回比5.6%の増加、「女」は289人(同33.1%)で前回比 6.3%の増加となりました。

図6 男女別就業者数の構成比

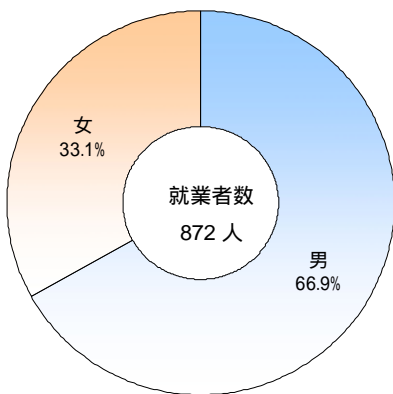
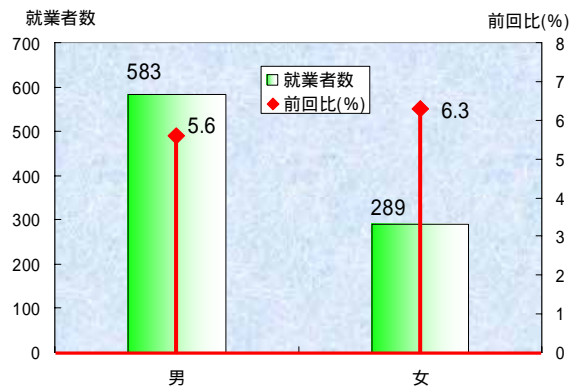


図7 男女別就業者数及び前回比



#### 【雇用形態別】

就業者数を雇用形態別にみると、常用雇員が815人(構成比93.5%)と全体の9割超を占め、内訳は「正社員、正職員」が195人(同22.4%)、「パート・アルバイト等」が620人(同71.1%)となりました。また、前年に比べると、「臨時雇員」(29人増加、前回比414.3%増)が増加しています。

図8 雇用形態別就業者数の構成比

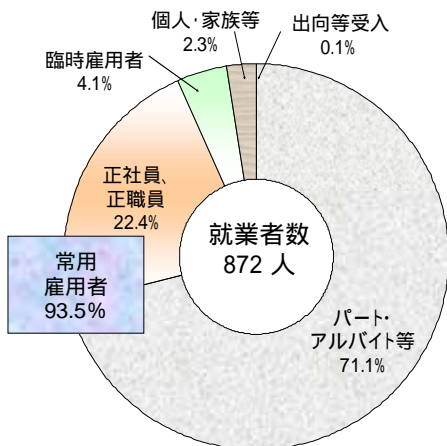
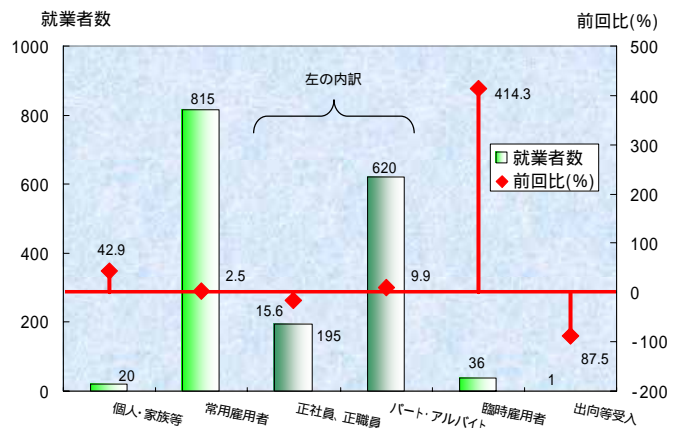


図9 雇用形態別就業者数及び前回比



【部門別】

就業者数を部門別にみると、「フロント部門」が440人(構成比50.5%)と全体の過半数を占め、前回比 9.3%の減少となりました。

前回に比べると、「指導員」(21人増加、前回比91.3%増)が増加しています。

図10 部門別就業者数の構成比

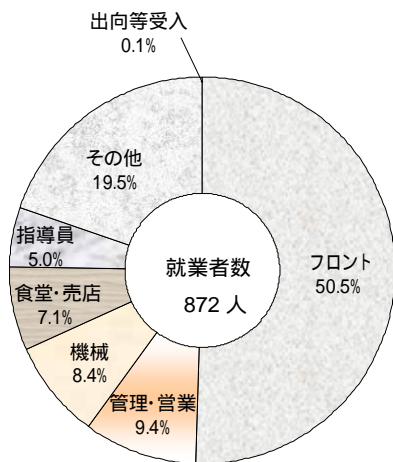


図11 部門別就業者数及び前回比

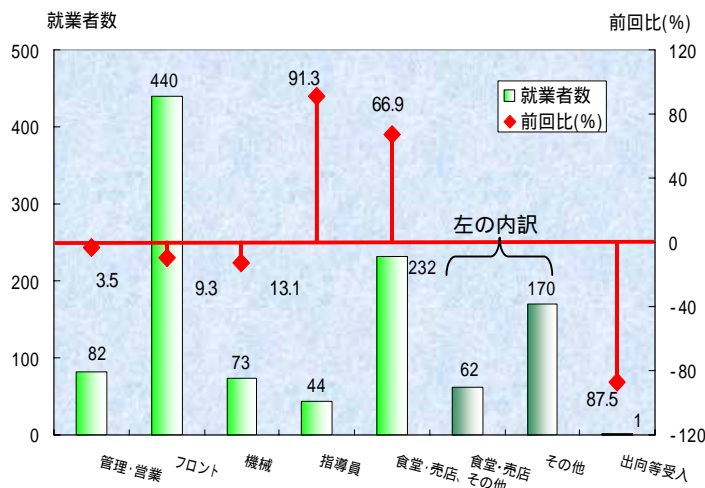


表3 男女別、雇用形態別、部門別就業者数

区 分		平成13年		平成16年		
		(人)	構成比 (%)	(人)	構成比 (%)	前回比 (%)
計		824	100.0	872	100.0	5.8
男女別	男	552	67.0	583	66.9	5.6
	女	272	33.0	289	33.1	6.3
雇用形態別	個人事業主、無給家族従業者又は有給役員	14	1.7	20	2.3	42.9
	常用雇用者	795	96.5	815	93.5	2.5
	正社員、正職員	231	28.0	195	22.4	15.6
	パート・アルバイト等	564	68.4	620	71.1	9.9
	臨時雇用者	7	0.8	36	4.1	414.3
部門別	出向・派遣者(受入)	8	1.0	1	0.1	87.5
	管理・営業部門	85	10.3	82	9.4	3.5
	フロント部門	485	58.9	440	50.5	9.3
	機械部門	84	10.2	73	8.4	13.1
	指導員	23	2.8	44	5.0	91.3
	食堂・売店(直営)、その他	139	16.9	232	26.6	66.9
	食堂・売店(直営)	-	-	62	7.1	-
その他	-	-	170	19.5	-	
出向・派遣者(受入)	8	1.0	1	0.1	87.5	

#### (4) 年間売上高

### 54億88百万円、前回比4.5%の増加

平成16年のボウリング場の年間売上高は54億88百万円で、前回に対し2億36百万円増加(前回比4.5%増)となりました。

#### 【収入区分別】

年間売上高を収入区分別にみると、構成比の最も大きな「利用料金収入」が45億6百万円(構成比82.1%)と全体の8割超を占めました。

また、前回に比べると、「入会金収入」(前回比33.3%増)、「利用料金収入」(同3.5%増)は増加しています。

図12 収入区分別年間売上高の構成比

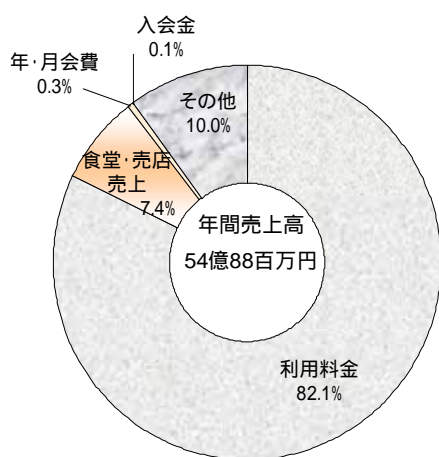


図13 収入区分別年間売上高及び前回比

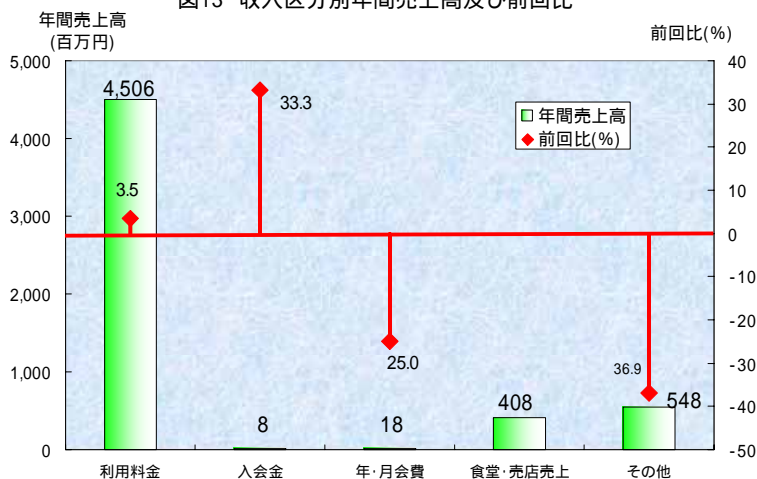


表4 収入区分別年間売上高

区 分	平成13年		平成16年		
	(百万円)	構成比 (%)	(百万円)	構成比 (%)	前回比 (%)
計	5,252	100.0	5,488	100.0	4.5
利用料金収入	4,354	82.9	4,506	82.1	3.5
入会金収入	6	0.1	8	0.1	33.3
年・月会費収入	24	0.5	18	0.3	25.0
食堂・売店(直営)売上収入	-	-	408	7.4	-
その他の収入	868	16.5	548	10.0	36.9

(注) 食堂・売店(直営)売上収入は、平成16年調査からボウリング場部門の収入として定義変更したため、前回比の計算からは除きます。

(5) 個人会員数

**2万5766人、前回比 31.2%の増加**

平成16年のボウリング場の「個人会員」は2万5766人で、前回に対し6121人増加(前回比31.2%増)となりました。

また、「法人会員」は860口でした。

【年代別】

「個人会員」を年代別にみると、「20歳未満」(前回比239.6%増)、「20代」(同127.3%増)の会員数が大きく増加しました。

一方、「40代」(前回比 19.4%減)、「50代」(同 16.7%減)の会員数は減少しています。

図14 年代別個人会員数の構成比

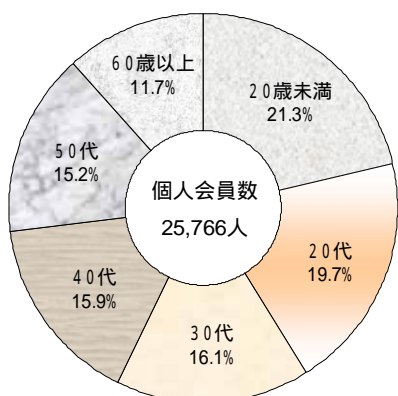


図15 年代別個人会員数及び前回比



表5 年代別個人会員数

区分	平成13年		平成16年		
	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)	前回比 (%)
計	19,645	100.0	25,766	100.0	31.2
20歳未満	1,620	8.2	5,501	21.3	239.6
20代	2,231	11.4	5,072	19.7	127.3
30代	3,658	18.6	4,155	16.1	13.6
40代	5,096	25.9	4,106	15.9	19.4
50代	4,707	24.0	3,921	15.2	16.7
60歳以上	2,333	11.9	3,011	11.7	29.1

(6) 都道府県別の状況

年間売上高を都道府県別にみると、福岡県は54億88百万円(1ボウリング場当たりの年間売上高は1億44百万円)と全国の4.2%を占めています。

図16 ボウリング場数の構成比

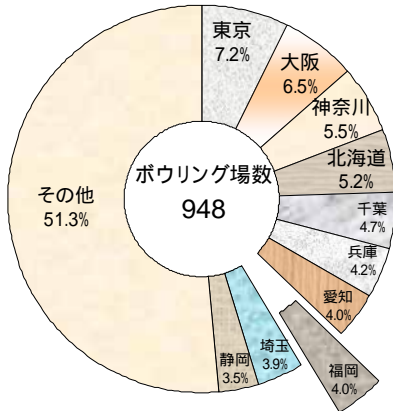


図17 就業者数の構成比

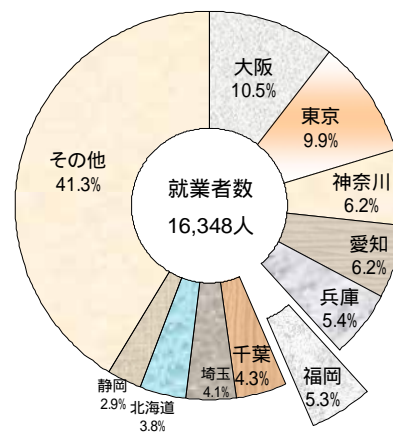


図18 年間売上高の構成比

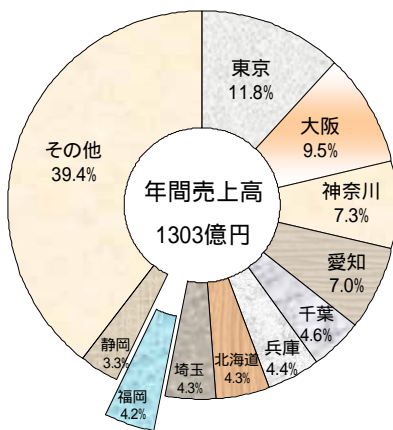


図19 年間利用者数の構成比

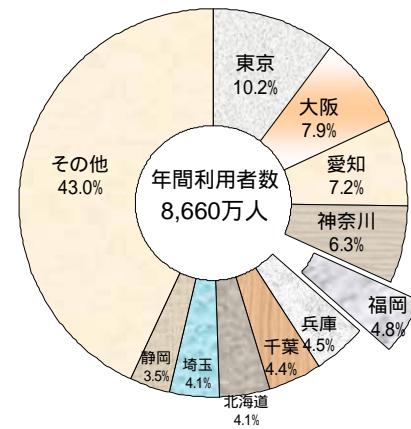


表6 都道府県別の状況(上位10都道府県)

順位	ボウリング場数		就業者数 (人)		年間売上高 (百万円)		年間利用者数 (人)	
	全国計	948 (100.0%)	全国計	16,348 (100.0%)	全国計	130,284 (100.0%)	全国計	86,596,213 (100.0%)
1	東京	68 (7.2%)	大阪	1,717 (10.5%)	東京	15,395 (11.8%)	東京	8,794,911 (10.2%)
2	大阪	62 (6.5%)	東京	1,611 (9.9%)	大阪	12,326 (9.5%)	大阪	6,818,392 (7.9%)
3	神奈川	52 (5.5%)	神奈川	1,020 (6.2%)	神奈川	9,458 (7.3%)	愛知	6,245,805 (7.2%)
4	北海道	49 (5.2%)	愛知	1,016 (6.2%)	愛知	9,112 (7.0%)	神奈川	5,457,643 (6.3%)
5	千葉	45 (4.7%)	兵庫	886 (5.4%)	千葉	5,970 (4.6%)	福岡	4,155,523 (4.8%)
6	兵庫	40 (4.2%)	福岡	872 (5.3%)	兵庫	5,675 (4.4%)	兵庫	3,897,866 (4.5%)
7	愛知	38 (4.0%)	千葉	702 (4.3%)	北海道	5,627 (4.3%)	千葉	3,837,767 (4.4%)
8	福岡	38 (4.0%)	埼玉	675 (4.1%)	埼玉	5,600 (4.3%)	北海道	3,573,171 (4.1%)
9	埼玉	37 (3.9%)	北海道	626 (3.8%)	福岡	5,488 (4.2%)	埼玉	3,565,205 (4.1%)
10	静岡	33 (3.5%)	静岡	473 (2.9%)	静岡	4,319 (3.3%)	静岡	3,052,499 (3.5%)

( )内の数値は、構成比を示しています。